

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	建設部	土木港湾課	内線等	2255
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	知柄漁港沖防波堤整備費負担金事業				
根拠法令等	漁港漁場整備法3条		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	水産業
------------------	-----

事務事業の内容

対象	漁業者に対し
手段	県が実施する漁港整備事業に対し、負担金を支出することにより
想定する成果	漁港機能の充実、円滑な漁業活動の推進を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
市の負担金	6,000千円	2,400千円	3,420千円
県の事業費	100,000千円	40,000千円	57,000千円
事業内容	沖防波堤工事全長 L = 50m	沖防波堤工事全長 L = 50m	沖防波堤工事全長 L = 50m

成果指標

成果指標名	事業進捗率
成果指標の説明	累積実績負担金/総負担金 × 100

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			100.0%
	実績	55.5%	77.6%	
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	6,100	2,500	3,520
	人件費	836	826	842
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	6,936	3,326	4,362
財源内訳	国			
	県			
	市債	5,700	2,100	
	その他			
	一般財源	1,236	1,226	4,362

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	3	3	年次計画どおり進捗している
経済効率性	2	2	ほぼ予算に見合った成果をあげている。
事務効率性	2	2	投入された人員に見合った成果をあげている。
必要性	2	2	県事業に伴う、市町村負担率により負担金を支払っている。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	漁業関係者からの要望により事業推進された。
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	現在の事業の進め方で十分効果があがっている。
------	---	---	------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

県に対し、事業の推進を要望した結果当初の計画どおり「知柄漁港沖防波堤整備事業L=50m」は～年の3年間で完了される見込みである。

今後改善すべき点

--

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	建設部	土木港湾課	内線等	2255
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	形原漁港大橋整備費負担金事業				
根拠法令等	漁港漁場整備法3条		(A)法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	水産業
------------------	-----

事務事業の内容

対象	漁業者に対し
手段	県が実施する漁港の土地利用整備事業に対し、負担金を支出することにより
想定する成果	水産物流の迅速・円滑化を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
市の負担金	29,000千円	14,250千円	
県の事業費	580,000千円	285,000千円	
事業内容	道路延長L=890m 橋梁L=695m・道路L=195m	道路延長L=890m 橋梁L=695m・道路L=195m	-

成果指標

成果指標名	事業進捗率	
成果指標の説明	累積実績負担金/総負担金 × 100	

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			
	実績	93.3%	100.0%	
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	29,200	14,450	
	人件費	5,015	4,958	
	(人数)	0.6	0.6	
	合計	34,215	19,408	
財源内訳	国			
	県	0		
	市債	27,500	12,800	
	その他			
	一般財源	6,715	6,608	

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	計画どおり14年度で完了することができた。
経済効率性	2	3	水産物流の迅速・円滑化を図ることができた。
事務効率性	3	3	投入された人員に十分見合った成果をあげた。
必要性	2	2	県事業に伴う、市町村負担率により負担金を支払っている
小計	10 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	漁業関係者からの要望により事業推進された。
合計	12 / 15 満点中	13 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	現在の事業の進め方で十分効果があがった。
------	---	---	----------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

県に対し事業の推進を要望した結果目標どおり平成14年度で完了となる。

今後改善すべき点

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	建設部	土木港湾課	内線等	2255
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	急傾斜地崩壊対策負担金事業（南ヶ坪）				
根拠法令等	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律23条		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	防災
------------------	----

事務事業の内容

対象	西浦町南ヶ坪地区急傾斜地危険区域での生活者に対し
手段	県が実施する急傾斜地整備事業に対し、負担金を支出することにより
想定する成果	生命・財産を守れるように図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
市の負担金	1,070千円	2,320千円	
県の事業費	10,700千円	23,200千円	
事業内容	重力式擁壁 L=45.2m H=4.4～1.7m	重力式擁壁 L=45.2m H=4.4～1.7m	

成果指標

成果指標名	事業進捗率	
成果指標の説明	累積実績負担金/総負担金×100	

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			
	実績	89.1%	100.0%	
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	1,170	2,420	
	人件費	836	826	
	(人数)	0.1	0.1	
	合計	2,006	3,246	
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,006	3,246	

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	ほぼ計画どおり完了することができた。
経済効率性	2	2	ほぼ予算に見合った成果をあげている。
事務効率性	2	2	投入された人員にほぼ見合った成果をあげた。
必要性	2	2	県事業に伴う、市町村負担率により負担金を支払っている。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	地域住民の要望により事業を実施した。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	今後とも県に対して事業の推進を要望する必要がある。
------	---	---	---------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

県に対して早期完了の推進を要望してきた。

今後改善すべき点

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	建設部	土木港湾課	内線等	2255
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	市道下向山地蔵ヶ崎2号線新設事業				
根拠法令等	道路法		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

総合計画での位置付け
基本目標

施策名	道路
基本目標	快適でやすらぎのあるまちづくり

事務事業の内容

対象	神ノ郷町地蔵ヶ崎地域の生活者に対し
手段	生活道路を新設することにより
想定する成果	地域住民の利便を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
事業内容	用地・補償費12,770千円	工事費 7,089千円	
	用地 55.67m ²	道路延長 L=58.2m	
	補償物件 1件	幅員 W= 4.0m	

成果指標

成果指標名	事業進捗率	
成果指標の説明	累積実績事業費/総事業費 × 100	

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			
	実績	64.3%	100.0%	
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	12,770	7,089	
	人件費	1,672	1,652	
	(人数)	0.2	0.2	
	合計	14,442	8,741	
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	14,442	8,741	

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	3	3	計画どおり完成することができた。
経済効率性	3	3	地域住民の生活道路として利便性を図った。
事務効率性	3	3	投入された人員に見合った成果をあげている。
必要性	3	3	市として実施すべき事業
小計	12 / 12 満点中	12 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	地元からの要望により、事業を実施した。
合計	14 / 15 満点中	14 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	現在の事業の進め方で効果があがっている。
------	---	---	----------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

13年、14年の2ヶ年事業で予定どおり事業を完了した。

今後改善すべき点

--

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	建設部	土木港湾課	内線等	2255
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	尺地川河川改良費負担金事業（連続立体交差部）				
根拠法令等	河川法100条		(A)法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	河川・排水路
-----------------	--------

事務事業の内容

対象	尺地川河川流域生活者に対し
手段	県が実施する河川改良整備事業に対し、負担金を支出することにより
想定する成果	河川の流下能力を高め水害防止を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
市の負担金	30,000千円	30,000千円	30,000千円
事業内容	仮線工・現在線撤去工 本設線工・護岸工	仮線工・現在線撤去工 本設線工・護岸工	仮線工・現在線撤去工 本設線工・護岸工

成果指標

成果指標名	事業進捗率	
成果指標の説明	累積実績負担金/総負担金 × 100	

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			95.4%
	実績	90.1%	92.7%	
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	30,100	30,100	30,100
	人件費	836	826	842
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	30,936	30,926	30,942
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	30,936	30,926	30,942

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	計画どおり進捗している。
経済効率性	3	3	投入された予算に十分見合った成果をあげている。
事務効率性	2	2	ほぼ人員に見合った成果をあげている。
必要性	3	3	河川管理者として実施すべき事業
小計	11 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	
合計	12 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	現在の事業の進め方で十分効果があがっている。
------	---	---	------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

平成4年～平成17年の14年間事業であるが、年次計画により順調に進捗している。

今後改善すべき点

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	建設部	土木港湾課	内線等	2255
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	河川浚渫整備事業		
根拠法令等	河川法100条		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

総合計画での位置付け
基本目標

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	河川・排水路

事務事業の内容

対象	河川流域生活者に対し
手段	河川の浚渫整備をすることにより
想定する成果	河川の流下能力を高め、水害防止を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
浚渫延長 (m)	1,327m	1,283m	1,200m

成果指標

成果指標名	整備率
成果指標の説明	浚渫延長(m) / 計画延長(m) × 100 計画総延長 9,130m ～ 5年事業

事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			65.0%
	実績	14.5%	28.6%	
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	15,008	11,602	9,500
	人件費	334	826	842
	(人数)	0.04	0.10	0.10
	合計	15,342	12,428	10,342
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	15,342	12,428	10,342

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	2	2	全体事業の中では目標どおり進捗していないが、14年度予算の中では概ね達成できた。
経済効率性	2	2	投入された予算に見合った成果をあげている。直営による測量設計で委託費の節減に努めている
事務効率性	2	2	投入された人員にほぼ見合った成果をあげている。
必要性	3	3	河川管理者として実施すべき事業
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	毎年度の投資額に限界があり、目標どおりに進んでいない
------	---	---	----------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

緊急度の高い河川から事業費の投入をした。

今後改善すべき点

財政難の中であるが、事業費を確保して早期に達成できるよう努めたい。

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載